

令和5年度事業報告

【総括】

2023年、新型コロナウイルスの国内感染法上の位置づけが「第5類」に移行され経済活動が正常化へと進み始めましたが、世界に目を向けてみると、長引くロシア・ウクライナ紛争や、中東で勃発した紛争等への注目度が一層高まり、私たちの生活にも少なからず影響を及ぼすこととなりました。

このような中、事業者の方が消費税を正確に納めるために必要な制度である「インボイス制度」が始まり、個人事業主であるシルバー会員を取りまとめるセンターとしては、この制度対応に注力する年となりました。

センターの「第3次基本計画」（平成31年3月策定）において、終盤に差し掛かった当年度事業実績では、会員数は令和4年度末の2,081人から2,057人（1.2%減）、契約額については、請負・委任事業は増加、派遣事業では横ばいとなっており、両事業で計8億6千8百万円余から8億8千9百万円余（2.4%増）という結果となりました。

1 会員の状況と入会促進 ※各実績の（ ）は令和4年度

従来の入会説明会（毎週木曜日）に加え、ハローワークでの出張入会説明会（毎月1回）や、コミュニティセンターでの「未就業者就業相談会」の開催（3回）など、会員拡大と退会抑制に努めましたが、昨年度に続き、会員数は減少する結果となりました。

- 会 員 数：2,057名（2,081名）1.2%減 平均年齢 74.8歳（74.6歳）
男性 1,381名（1,410名）女性 676名（671名）
- 新入会者：265名（251名）5.3%増 入会者の平均年齢 69.7歳（69.9歳）
男性 174名（168名）女性 91名（83名）
- 退 会 者：289名（301名）4.2%減 退会者の平均年齢 76.3歳（76.0歳）
男性 203名（191名）女性 86名（110名）

2 受注の状況と就業拡大 ※各実績の（ ）は令和4年度

(1) 請負・委任事業

受注件数が前年度と比較しておおよそ 170 件ほど減少していますが、配分金単価の引き上げにより、配分金実績はほぼ横ばいの状態となりました。

- 受注件数：6,157 件（6,329 件） 2.7%減
- 就業実人員：1,550 人（1,548 人） 0.1%増
- 配分金：635,470,207 円（633,822,792 円） 0.3%増

(2) 労働者派遣事業

派遣事業は、交流館の夜間管理業務が大半を占めている状況です。

発注者都合により継続契約が行われなかった就業があった一方で、店舗での品出しの仕事や、時季的・短期間の作業への人員確保として派遣事業での就業が増え、受注件数は横ばいとなりました。

賃金実績については、最低賃金の引き上げにより増加となりました。

- 受注件数：96 件（95 件） 0.1%増
- 就業実人員：227 人（231 人） 1.8%減
- 賃金：118,409,408 円（117,699,574 円） 0.6%増

(3) 有料職業紹介事業

会員としての就業ではありませんが、高年齢者へ就業機会を提供する手段の一つとして、民間企業からの求人と、求職する高齢者を結びつける同事業では、清掃や接客の仕事から送迎業務や運搬作業など多様にわたり、36 社からの求人依頼があり、求職者 52 人のうち 31 人が雇用に結びつきました。

(4) 自主事業

会員の趣味や技能を仕事にした自主事業（門松製作、刃物研ぎ、手芸、パソコン指導など 21 班）の活動については、就業の機会（イベント等への出店）もコロナ禍前の水準に戻りつつあり、会員の活躍の場が増えました。

また、令和4年度より開始した、集い・働き・楽しめる場の創出を目的とした「内職サロン」は、週2回実施して延べ431人が就業しました。

3 普及啓発活動

会員による PR 活動とは別に、機関紙「シルバーとよた」の発行、ホームページ及び Facebook（フェイスブック）など SNS による活動紹介を随時更新し、広く情報発信を行いました。また「広報とよた」での自主事業班が企画する講習会の開催など、広く市民にセンターの PR を行いました。

4 安全就業対策

危険性の高い受注の回避、安全・適正就業委員会による就業現場のパトロール及び職群班会議等での注意喚起や啓発活動などを通じ、事故の抑止を図りましたが、シルバー保険対象事故は計 34 件発生しました。傷害事故については、前年度より若干の減少となり、賠償事故については前年度の 2 倍の件数に増加しました。

重篤な事故に繋がらないよう、職員並びに安全・適正就業委員会による基本的な安全対策及び現場パトロールの実施を徹底していきます。

（1）傷害事故

事故のうち、全体の 6 割がハチなどによる「虫刺され」の事故でした。「会員の安全・適正就業に関する要綱」内に安全作業のポイントとして記載した注意事項の確認を呼び掛け、引き続き事故防止に心がけていただくよう努めます。

●事故件数 計14件（18件）

（2）賠償事故

前年度は 1 件しか発生しなかった飛び石による賠償事故が、今年度は大幅な増加となり 13 件となりました。事前の現場確認での危険予知と飛び石予防策（カルマーの使用、防護ネットの設置等）を行い、事故件数の減少に取り組んでいただくよう注意喚起を行います。

●事故件数 計20件（10件）

5 委員会活動

第3次基本計画の取り組みに沿って、会員で構成される各委員会でセンターの課題に取り組みました。（以下は主な取り組み事項）

（1）常設委員会

ア 総務委員会

- ・マレットゴルフ大会の開催について
- ・会員交流会（地区・地域班交流会）のあり方について
- ・役員改選について
- ・会員アンケート（就業意欲調査）の実施

イ 就業開拓委員会

- ・顧客満足度アンケート調査について
- ・軽作業体験&就業相談会（出張内職サロン）について（市内3か所）
- ・事業所訪問（市内1か所、市外1か所）
- ・防草ネット・シート張り講習会の開催

ウ 安全・適正就業委員会

- ・委員会による現場パトロール（7回開催）
- ・県シ連パトロール随伴（3回開催）
- ・近隣センターの除草作業での作業方法についての情報収集
- ・急傾斜地での除草作業に対する受注方法について
- ・除草、剪定作業会員に係る安全確認について

エ 普及促進委員会

- ・機関紙「シルバーとよた」の取材・編集、発行（8月、2月）
- ・シルバーPR活動について
- ・PRグッズの検討について

（2）非常設委員会等

ア 女性部会「スキップとよた」

- ・「女性の集い」開催（3回開催）
 - ① 「お掃除セミナー」
 - ② 「リースづくり&おしゃべり会」

③ 「健康づくり講座」

- ・女性の集いでの非会員参加者の入会状況について

イ 配分金等検討特別委員会

- ・令和6年度の配分金基準を検討（1回開催）

ウ 評定委員会

- ・退会勧告を含む2案件について検討（1回開催）

6 地域活動

各地区・地域班では、地域の環境美化、交流館ふれあいまつりや自治区催しの手伝いなどの地域活動（ボランティア活動）が実施されました。地域活動の実施に併せ、多くの市民の方々にシルバーを知っていただけるよう、ポケットティッシュの配布などを行いPR活動も行いました。

- ・地域での環境美化活動（3地区）
- ・地域開催イベントでのボランティア活動（7地区）
- ・地域行事でのPR活動（5地区）

7 技能講習等の開催、受講

作業の安全・待遇等、仕事に応じた講習の開催及び外部機関での受講を促進しました。

（1）会員技能講習

- ・草刈講習会（8名）
- ・伐木等の業務（チェーンソー）講習（1名）
- ・刈払機取扱作業安全衛生教育講習（12名）
- ・防草ネット張り講習（6名）
- ・交流館夜間管理会員待遇研修（30名）
- ・リサイクルステーション就業会員待遇研修（84名）
- ・指定管理施設消防訓練（4施設延べ110名）
- ・ヘルパー会員フォローアップ研修（32名）

（2）一般技能講習

- ・剪定講習会（11月… 14名）

- ・ヘルパー養成講座（10月～12月… 9名）

（3）その他

- ・剪定講習（県連合会主催 緑化センターにて開催・6名）
- ・花はうす就業体験会（県連合会主催 山室花はうすにて開催・2名）

8 指定管理者制度に基づく施設管理

豊田市との協定に基づき引き続き 12 の施設を担い、施設管理や受付・清掃等の業務に会員 80 名余りが従事しました。

9 会員有志によるサークル活動・サロン

従来活動していたクラブ（囲碁・将棋クラブ「一生会」・サロン DE シルバー（藤岡支所）・旅行クラブ・フレッシュサロン（小原支所））はコロナ前同様の活動を行うことができました（※旅行クラブについては「能登半島地震」の影響もあり中止）。

昨年度より開催している、会員の交流の場とした「シルバー杯マレットゴルフ大会」も継続開催されたとともに、令和 5 年度は新たに「ゴルフクラブ」「健康麻雀クラブ」が発足され、多くの会員が交流を図ることができました。